

～高丸山の森づくり情報～



遊学の森便り

第189号
230228

2月の遊学の森の様子



あずまやあたりの様子です。枝ぶりや木の成長具合などがよくわかります。ちょっと窮屈そうです



静かに森の中を歩くと、ヤマガラやコガラなどの野鳥が、枝を渡ってあちこち飛び回っていました



足元を見ると、種類によって落葉の色も違います。これはミズキの落ち葉が大半です。灰色ですね



こちらはクリが大半です。ミズキは紅葉時期は濃い赤で落葉後は灰色。、クリは褐色で変わらずです



面白い模様が入ったキノコです。調べるとツチクリでした。袋をつまむと、粉を吹きました



花粉症の人にとっては恐怖。スギの葉が赤褐色になっています。雄花が花粉をとばしそうです

■森づくり作業・管理レポート

●みんなの森づくり日記 2月1日～2月28日

活動内容	活動日	被害箇所	活動団体	作業内容
獣害被害 防除ネット 修復	2月 12日	0カ所	かみかつ 里山倶楽部 事務局	森づくり区画の外周に張っている、獣害被害防止ネットの補修状況です。 先月に引き続き、2月も被害が少ない状況です。とはいえ、区画の中ではイノシシの掘り返しもあり、油断できません。来月は春になり、餌を求めて侵入が相次ぐかもしれません。引き続き見回りしていきます。

■トピックス

●遊学の森の動物の痕跡

毎月、森づくり区画の外周を職員が見回っていますが、それでも区画内にはイノシシやシカの侵入が確認できます。動物は侵入、人間はそれを防ぐと、どちらも根競べになっているのですが、人間はそうそう諦めるつもりもないので、永遠の戦いになるのかと思います。今回は、そんな痕跡をご紹介します。



夏のイノシシの仕業です。道の形が変わるくらいです。掘り返し力がすごいです



木へのダメージは少ないのですが、道がでこぼこになり、歩きにくくなります



今の時期は、ワラビの根っこが目的です。真ん中の太い根がそれになります



シカの仕業です。スズタケ(ササ)の葉っぱを食べます



森づくり区画の内と外では、スズタケの繁茂の様子が全く違います



森に与える影響は大きいので、食害を減らしたいですが、フンをみるとがっかり

●ブナ (ブナ科) の木の不思議

ブナをはじめクヌギやコナラなど、ブナ科の一部の樹木で不思議だなあとすることがあります。それは秋の紅葉後、葉っぱが落葉せず春までずっと枝についているのです。暖かくなり、新芽が吹き始めるとようやく落葉します。遊学の森のブナにもしっかりくっついていて、引っ張ってみるのですが、触った程度では落ちないのです。来春の新芽を、冬の寒さから保護しているんだという説を聞いたことがありますが、他の樹種はしないのに、どうしてこの種類だけ？と思います。



葉っぱがあるので、ブナとわかります



たくさん葉っぱが残ったままです



これで芽を守れているのか？と思います

千年の森ふれあい館 (指定管理者：一般社団法人かみかつ里山倶楽部)

〒771-4502 上勝町旭中村 66-1 TEL：0885-44-6680 E-mail：sennennomori@@kkcatv.jp

※本便りは、千年の森 HP にフルカラーでアップ中です。http://www.1000nen.biz-awa.jp